

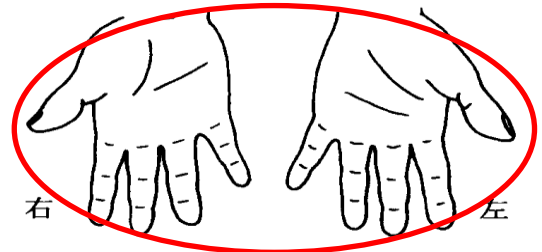
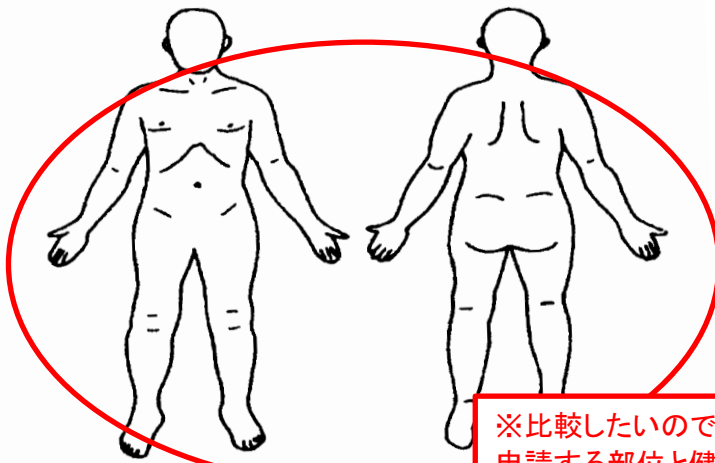
※診断書2枚目以降の各検査項目は、すべて記入してください。記入できない場合は、その理由を余白に記入してください。

肢体不自由の状況及び所見

1. 神経学的所見その他の機能障害（形態異常）の所見（該当するものを○で囲み下記空欄・参考図示に追加所見記入。）

- (1) 感覚障害(下記図示) : ①なし ②感覚脱失 ③感覚鈍麻 ④異常感覚
- (2) 運動障害(下記図示) : ①なし ②弛緩性麻痺 ③痙攣性麻痺 ④固縮 ⑤不随意運動 ⑥しんせん ⑦運動失調
⑧その他() ※()内は具体的に記載をお願いします。
- (3) 起 因 部 位 : ①脳 ②脊髄 ③末梢神経 ④筋肉 ⑤骨関節 ⑥その他() ※()内は具体的に記載をお願いします。
- (4) 排尿・排便機能障害 : ①なし ②あり ※麻痺等を発症する疾患の場合は不可欠です。
- (5) 形 態 異 常 : ①なし ②あり

【参 考 図 示】 ※図示は障害部位との整合性を確認して下さい。



変 形

切 離 断

切断の場合は切断部を明確に記入
大腿・下腿の1/2以上の切断か否か
上腕・前腕の1/2以上の切断か否かを記載

※比較したいので、できれば
申請する部位と健側も記入
してください。

感覚障害

運動障害

※切断の判定に不可欠です

2. 計 測

※関係ない部分は記入不要

右		左
	上肢長 cm	
	下肢長 cm	
	上腕周径 cm	
	前腕周径 cm	
	大腿周径 cm	
	下腿周径 cm	
	握 力 kg	

【計測方法】

上肢長：肩峰→橈骨茎状突

下肢長：上前腸骨棘→脛骨

上腕周径：最大周径

前腕周径：最大周径

大腿周径：膝蓋骨上縁上10cmの周径（小児等の場合は別記）

下腿周径：最大周径

←上肢の申請の場合は必ず記入してください。

※切断について(補足)

・手指の場合、「第2指PIP関節での切断、MP関節での切断」等。

・足部の場合、「リスフラン関節での切断、中足骨レベルでの切断」等。

※動作・活動の状況は関節可動域・筋力テストとの整合性を確認して下さい。

3. 動作・活動の状況（自立－○ 半介助－△ 全介助又は不能－×）

寝返りをする	
足をなげ出してすわる(背もたれ)	
椅子に腰かける(背もたれ、肘かけ)	
洋式トイレにすわる	
排泄のあと始末をする	
椅子から立ち上がる (手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具)	
片足で立つ	右 左
家の中の移動 (手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具、車椅子)	
二階までの階段を上って下りる (手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具)	
屋外での移動(杖、松葉杖、義肢、装具、車椅子)	
公共の乗り物を利用する	

つまむ(新聞紙が引き抜けない程度)	右 左
握る(丸めた週刊誌が引き抜けない)	右 左
箸で食事をする(スプーン・自助具)	右 左
コップで水を飲む	右 左
ブラシで歯を磨く(自助具)	右 左
顔を洗いタオルで拭く	
タオルを絞る(水をされる程度)	
背中を洗う	
ズボンははいて脱ぐ(自助具)	
シャツを着て脱ぐ	

注：()の中のものを使用する場合は、使用するものを○で囲んでください。その場合は、自立していないという解釈になりますので
評価は「△」「×」のいずれかを記載してください。